

クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔消化器・一般外科〕

指標名

ロボット支援下手術への取り組み

目標・ゴール

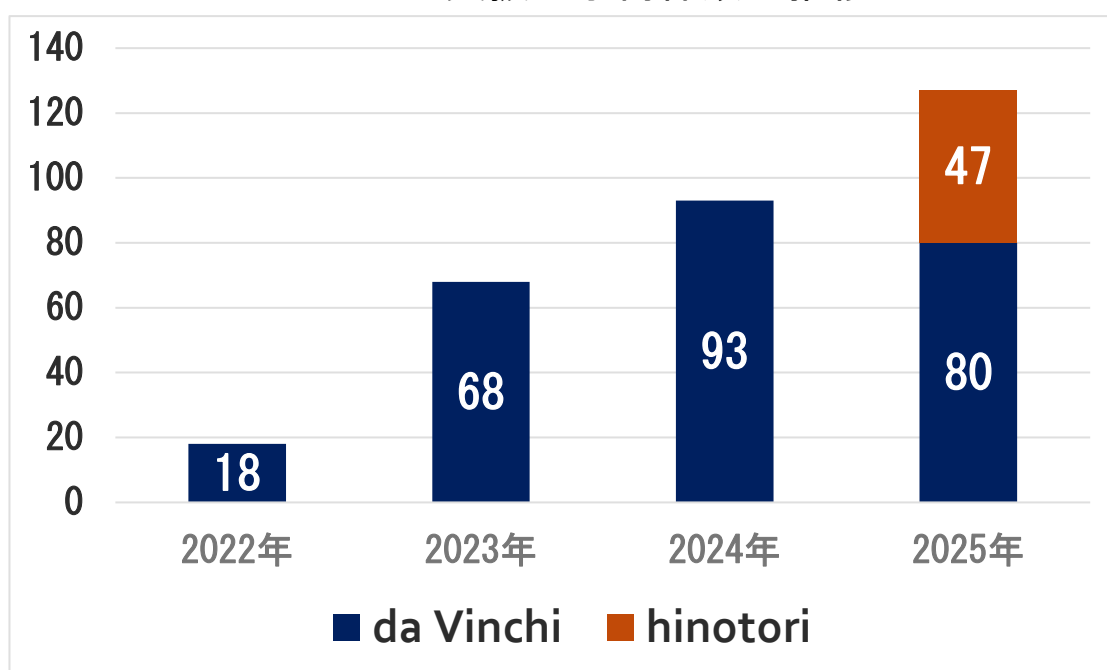
ロボット支援下手術の症例数、該当術式の増加

目標・ゴール達成による効果

ロボット支援下手術は、3D 画像や手振れ防止機能、多関節機能など、その潜在的なメリットから普及が進んでおり、各学会での取り組みおよび海外での実績から、今後更なる発展が期待されている。ロボット支援下手術に対する、城南地区を中心とする地域医療圏ニーズは高いと思われる。患者獲得による症例数・医業収入の増加に寄与するものと思われる。

目標・ゴールに対する成果の状況

ロボット支援下手術件数の推移



目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- ☐S : 大幅に目標を上回った
- ☒A⁺: 目標を多少上回って達成
- ☐A : 目標を達成
- ☐B⁺: 目標を少し下回った
- ☐B : 目標を下回った
- ☐C : 目標を大幅に下回った
- ☐ー : 外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

2025 年度は新たな手術支援ロボットとして hinotori を新規導入した。da Vinci との 2 台運用により、手術件数の増加が得られ目標は達成できた。今後、限られた手術枠の中でさらに症例数を増加するためには、手術室の整備やコメディカルスタッフとの連携が不可欠であり、本年度の課題としたい。また、蛍光ガイドや手術支援 AI を併用し、症例数のみならず、更なる手術の質の向上に努めていきたい。